

一昨年が続く入賞! SSH生徒研究発表会報告



令和2年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会において、理数科生物班の「出水市に侵入したリュウキュウアブラゼミはどこから来たのか」の研究が「SSH奨励賞」を受賞しました。一昨年の全国1位(文科大臣表彰)には及びませんが、全国ベスト12に相当する好成績です。

それでは、そこに至るまでの過程を簡単にご紹介します。

7月21日(火)、発表要旨(和文・英文)とポスター発表の動画(5分)を事務局に送付しました。本来なら神戸で一堂に会してポスター発表のはずだったのですが、コロナの影響で撮影した動画での一次審査となりました。ビデオ撮影は放送物理部の生徒や先生に協力してもらいました。

その後は、絶対に2次審査に進むつもりで本気で準備を行いました。二次審査はZoomによる質疑応答20分のみ。練習のためのZoomの画面にはSSH主任のH先生が映っています。

論旨の部分で先生方になかなか伝わらず苦労した部分もあったようですが、なんとかいい質疑応答ができたようです。

8月19日(水)二次審査結果(最終審査進出校)発表

9月1日(火)、最終成績発表。

残念ながら最上位6校による最終審査に進むことはできませんでしたが、全国のSSH指定校222校の中で「今後の活躍が期待される」とされた6校に選ばれ、SSH奨励賞を受賞しました。